

地震と大雨 とっても不安な日々でした

6月18日7時58分震度6弱の地震が大阪府北部を中心に発生しました。早朝の挨拶運動で登校中の児童や、朝の見守りのボランティアの方がブロック塀が倒壊して亡くなるなど痛ましい事故が発生しました。私たちの地域では震度4の揺れでしたが、少し揺れの時間は短かったものの阪神淡路大震災を彷彿させるような揺れでした。

また、7月に入ってから4日ほど続けて大雨が降り、各地で多くの被害が続出しています。生駒市でも、「緊急気象速報」が何回も送信され、「避難指示」「避難勧告」が出され、各地域の避難所も開設されました。自治会役員・自主防災会役員で当地区避難所「東小学校」へ出向いて様子をお聴きしましたが、幸い自宅で安全確保されており、どなたも避難されていませんでした。その後、警報も解除され、市から避難所閉鎖の指示があったので、ひとまず安心いたしました。

《地震を想定した対応》については、当自治会・自主防災会で各戸配布されている「防災ハンドブック」に記載の通りですが復習の意味でお知らせしておきます。

「防災ハンドブック」8ページには『震度5弱以上の地震発生通報』などにより、緊急初動体制に入る旨を判断し、自治会館に『災害対策本部』を設置し、災害対策の対応に当たる」とあります。また、『震度5弱』とは『大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる』『棚にある食器類や本が落ちることがある』とあります。こんなことがあっては困りますが、

- 「大地震だ！」と感じたら、まず、
「自分の身の安全を」図る。



- 在宅中の安全を感じたら《だいいょうぶ目印》を玄関、ドアかポストに出す。
- 班長・評議員は《だいいょうぶ目印》の確認などして班員の安全を確認し、本部へ連絡し、指示を待つ。

災害発生時はパニックになってしまっていて、なかなかこの通りにはいきませんが、まずは基本的なことだけお知らせしておきます。

公園のベンチきれいになりました

第2公園と第3公園のベンチの塗装のボランティアをお願いしておりましたところ、回覧を見て駆け付けていただいた方や事前にお声をかけていた方を含め5人でペンキ塗りをしました。梅雨の真最中で、曇り空で、途中で雷が鳴ったり、小雨が降ったりして少し不安もありましたが、作業にはちょうど良い気温でした。みんなで楽しく和気あいあいと作業をしていただきました。初心者がほとんどでしたがプロ顔負けの出来上がりでした。自分たちの力で自分たちの町をきれいにしたという充実感があり、気持ちがいいものです。今後もこのような企画をしたいと思っておりますので、ぜひ、ご協力をお願いします。

